教育関係共同利用拠点事業
筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局

支援の今を知る
これからを考える

高等教育における 発達性読み書き障害 ―日本と英国の現状から考える支援のあり方―

令和8年度第4回FD/SD研修会

見逃し配信実施中！

11/20(金) ～ 12/24(木)

対象
高等教育機関に在籍する教職員

方法
録画動画をリンクで配信
(申込後、メールにて送付)

参加費 **無料**

趣旨・目的

発達性読み書き障害（発達性ディスレクシア）のある学生への支援をテーマに、日本と英国における現状や課題を取り上げます。Assessment（評価）の考え方と、その結果を合理的配慮や学生支援へ結び付けるプロセスについて理解を深め、高等教育機関における支援のあり方を考えます。

プログラム

※講演は日本語です。

- 話題提供
「日本の高等教育機関における発達性読み書き障害のある学生支援の現状と課題」
筑波大学ヒューマンエンパワーメント推進局 助教
横井美緒 氏
- 講演
「英国の高等教育機関における発達性読み書き障害のある学生支援の現状」

講師



Taeko N. Wydell（タエコ・ワイデル）氏

Emeritus Professor of Cognitive Neuroscience, Brunel University of London（ブルネル大学 認知神経科学名誉教授）EU招聘研究者としてヘルシンキ工科大学でMEG研究に従事したほか、現在も日本を含む各国との国際共同研究を行っている。British Neuroscience Association（英国神経科学会）地域代表（2014～2023年）を歴任し、現在、学術誌『Dyslexia』の副編集長。

お申込みはこちらから

URL： https://forms.cloud.microsoft/r/fpw37zfSuf

※こちらは10月に配信された研修会の録画配信です。
※動画は、字幕・手話通訳付きです。

申込締切：
12/24 まで

☎ 029-853-3889
E-mail：radd-info@un.tsukuba.ac.jp
BHE ヒューマンエンパワーメント推進局